

授業概要

本科目は、実社会の仕事について知ること、その上で採用選考対応を体系的に習得するものです。大学新卒者採用に向けた就職活動を、受講生が納得のいくように進めるために、15回の授業とそれに付随する予習・復習の他に、動画の視聴、外部講師による特別講義、企業現場への視察等を駆使しての授業となります。「資格取得・インターンシップ参加・実学研修」を実行することが、就活に勝つための道筋を可視化するための必須の条件です。受け身一辺倒ではない科目であることを十分に理解して受講してください。

本科目は「高等学校教諭第一種免許状」教養課程の必修科目であるため、商業科目担当教員の視点から高校生に職業指導をするための基礎知識となる要素を含みます。さらに、働き方改革、在宅勤務・ワーケーション、2025年問題、等の10年先を見据えた理解が深まるように指導します。

授業計画

第1回	オリエンテーション、評価方法の説明、受講ルール、資格とインターンシップの重要性
第2回	「ビジネス経済」の観点から仕事の種類を知り業界への関心を高める
第3回	就活準備—情報の活用方法、メディアを知り使い分ける(※)
第4回	ZOOMアカウント取得・ZOOMマナー、動画選考に勝つ(※)
第5回	就活ホスピタリティ：電話・メールのマナーをマスターする(※)
第6回	「夏のインターンシップを制する者は就活を制する」直前準備(※)
第7回	就活で活用する「資格」をとる(※)
第8回	「マーケティング」の観点からAI・IoT・ICT・DXの現在地と未来像を知る(※)
第9回	自己分析、自分自身の棚卸、自分の長所、自己PR、これらの考え方と導き方
第10回	「ガクチカ」他校と差別化できる最大の武器が本学にはある。人類の課題「気候変動」を知る
第11回	「ビジネス経済応用」の観点から企業分析を行い、志望動機の作り方を習得する
第12回	グループディスカッションの対応方法(※)
第13回	企業も従業員も変わる働き方改革と在宅勤務、コンプライアンス・ハラスメント・情報管理、「経済活動と法」の観点から
第14回	実学研修(外部講師・オンライン講義・動画の視聴・企業訪問、いずれかで実施)
第15回	振り返り、夏休みの過ごし方の確認、小テスト、最終課題レポート提出
第16回	定期試験は実施しない

到達目標

- 1) 夏休みからインターンシップに臨む準備が整い、就活をスタートできるようになる。
- 2) 商業の各分野の知識と技術を習得し、ビジネスの意義や役割について理解する。
- 3) ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

履修上の注意

- 1) 15回の授業は全て就活に必要な要素ばかりを凝縮していますので、本気で就活に取り組むという目的意識と気概がなければ履修する意味はありません。第1回目に説明する受講ルールとマナーを守ることを必須とします。30分以上の遅刻は入室できません。
- 2) (※)印の講義ではスマートフォンから情報検索やユーザー登録をする予定です。内容によってはパソコン教室に教室を変更しPCを使っての実習を行います。
- 3) 準備段階の調整により講義スケジュールが一部入れ替わることもあります。企業訪問を実施する場合の交通費等は学生の自己負担となります。
- 4) 30分以上経過しての入室は遅刻扱いとし、遅刻3回で1回の欠席とします。5回以上の欠席の場合は、単位評定はしません。

予習・復習

予習：次回取り上げる課題を提出する。

復習：授業の課題を復習として提出する。

評価方法

毎回の課題対応と小テスト50%、自己PR・志望動機レポート提出50%、とし、これに授業態度を加味して総合的に判定します。

テキスト

- ・テキストの指定はしない。スライドを準備し、必要に応じてプリントを配布する
- ・授業内で参考となるウェブサイト、参考文献、をその都度紹介する